

(2) 子ども・子育てに関する現状について

1 少子化の動向

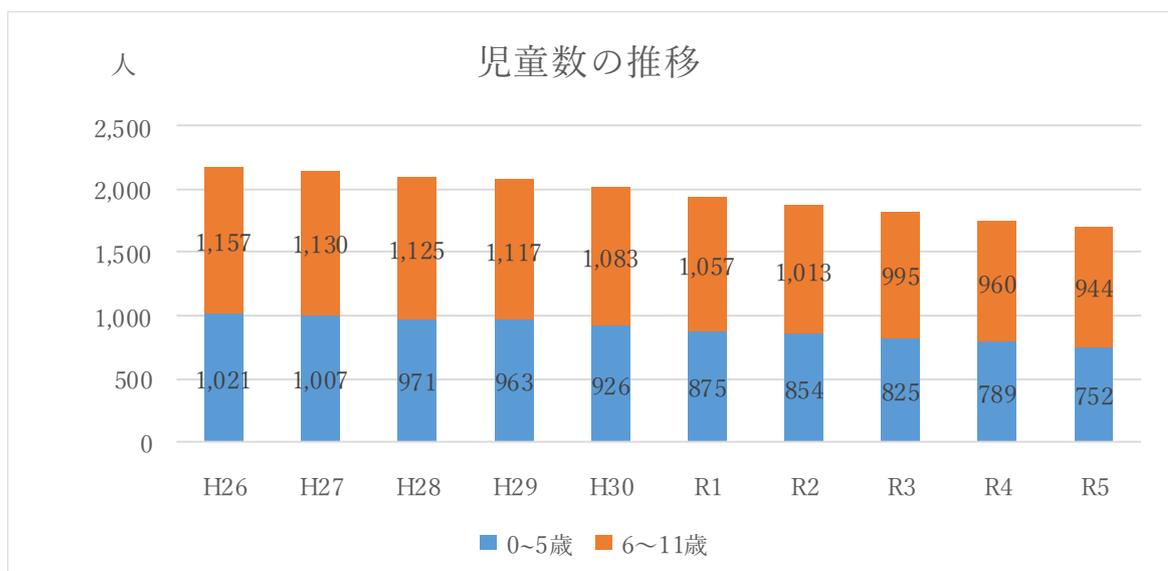
①人口の動向

勝山市の人口は、減少傾向が続いています。平成2年には3万人を割り込みました。今後の推計では令和12年に2万人を割り込む見込となっています。住民基本台帳による令和6年3月末の人口は、21,307人でした。



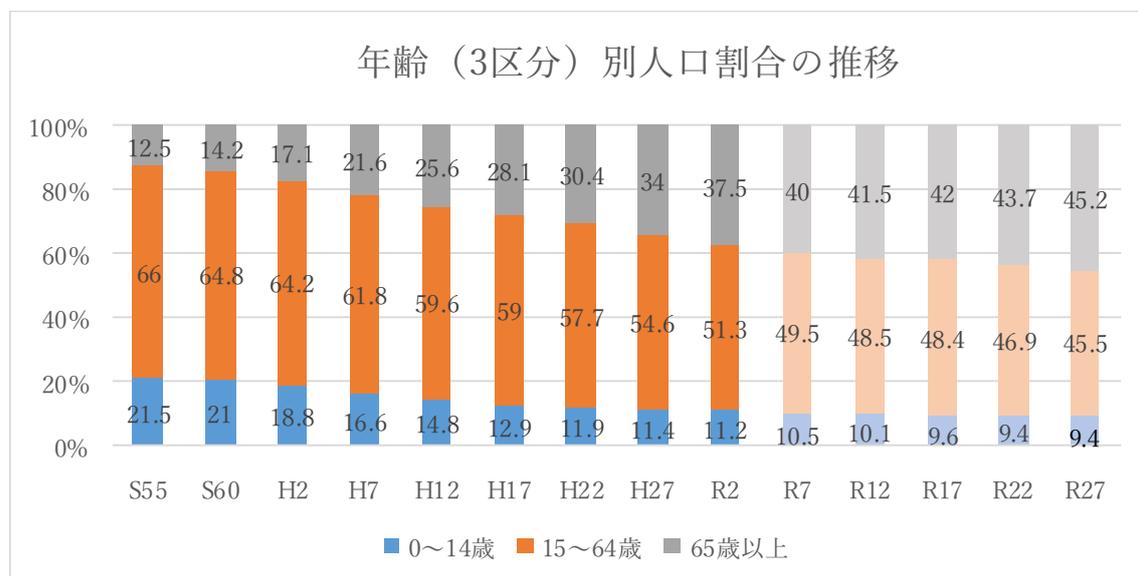
(資料：R2まで国勢調査 各年10月1日現在、R7以降は人口動向分析・将来人口推計のための基礎データ及びワークシートR1.6版による推計)

児童数(0～11歳)についても減少傾向が続いています。



(資料：住民基本台帳)

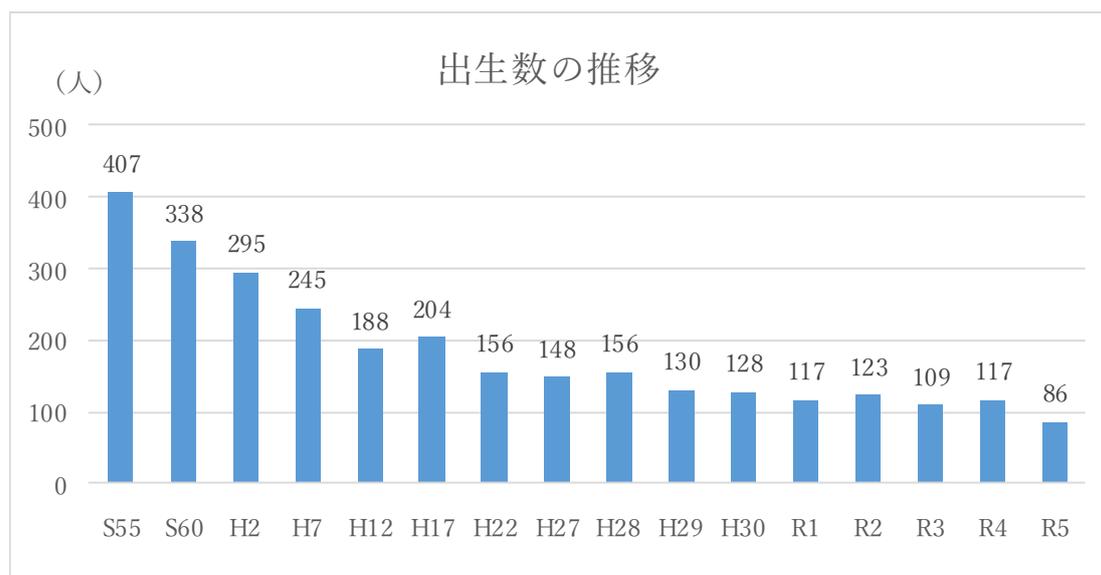
また、年齢別（3区分）でみると、年少人口割合（0～14歳）は、昭和55年には21.5%でしたが、減少傾向は続き令和2年において11.2%まで減少しています。一方で、老年人口割合（65歳以上）は昭和55年では、12.5%でしたが、増加が続き令和2年には37.5%となり、急速な少子高齢の現状は今後も進む見込みです。



（資料：R2まで国勢調査 各年10月1日現在、R7以降は人口動向分析・将来人口推計のための基礎データ及びワークシートR1.6版による推計）

②出生の動向

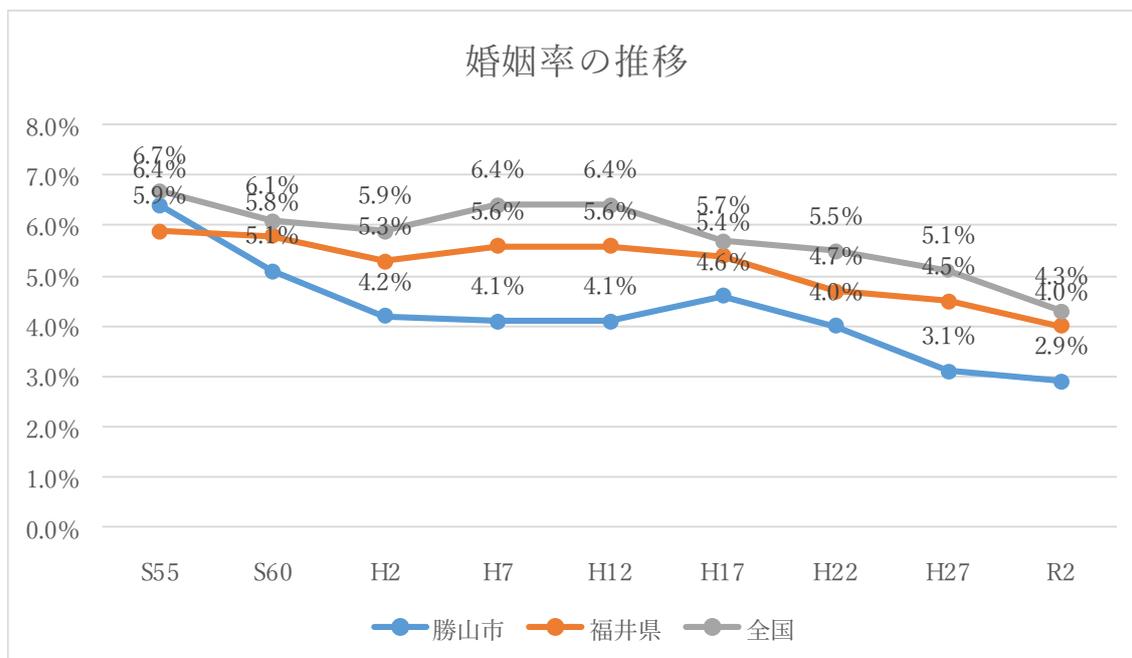
勝山市の出生数は近年大幅な減少傾向にあり、H22年度は160人を割り込み、令和5年度には、100人を割り込みました。



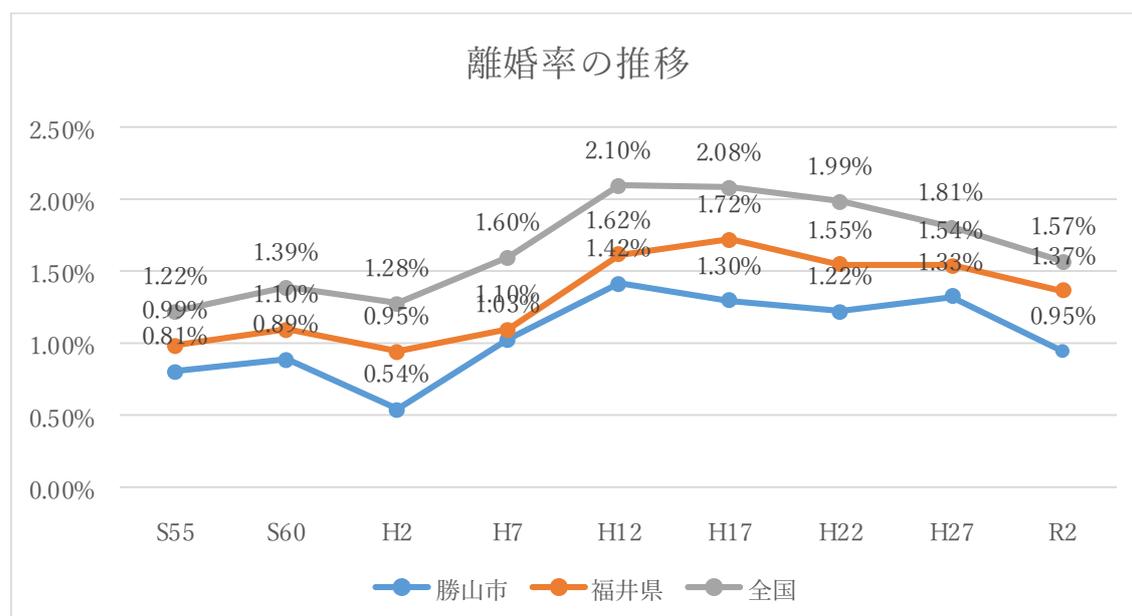
（資料：勝山市のすがた）

③婚姻・離婚の動向

勝山市の婚姻率、離婚率はともに福井県全体や全国に比べ、やや低い水準にあります。婚姻率は減少傾向にあり、令和2年度には3%を下回りました。一方で、離婚率はやや高くなる傾向にありましたが、全国、福井県と同様に推移しており、令和2年度は1%を下回っています。

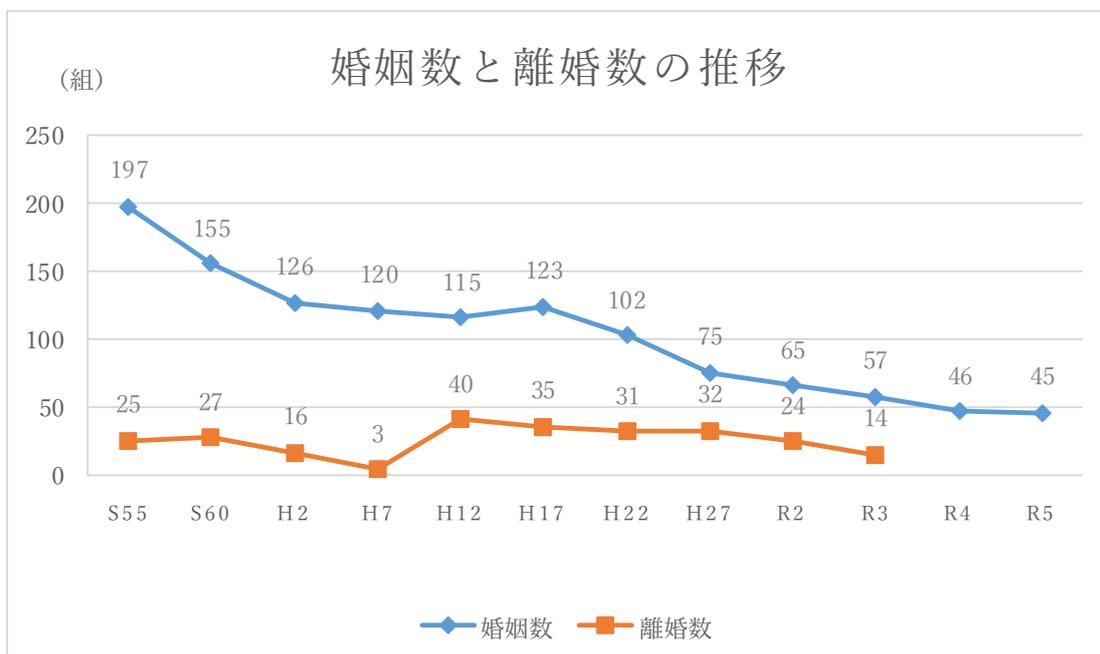


*婚姻率：人口1,000人に対する各年度の婚姻件数を示す率



*離婚率：人口1,000人に対する各年度の離婚件数を示す率
(資料：人口動態統計)

婚姻数においても、減少傾向は続き令和5年度は45組でした。



(資料：勝山市のすがた)

④未婚率の動向

勝山市の未婚率は男女とも各年齢階層において高くなる傾向にあり、晩婚化が進んでいる傾向にあります。

年齢階層別の未婚率の推移（男性）

(%)

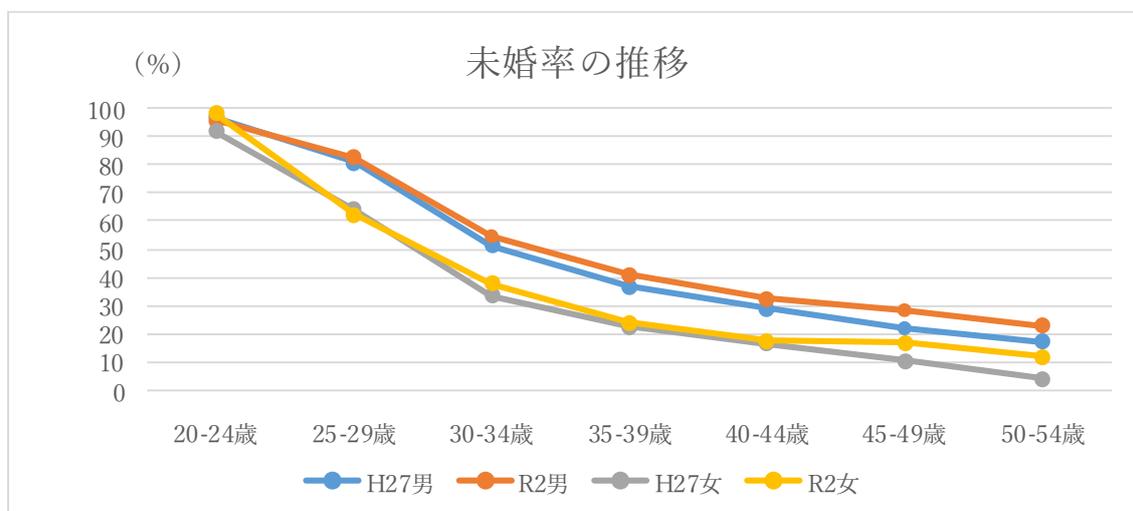
	S55	S60	H2	H7	H12	H17	H22	H27	R2
20-24歳	91.8	92.5	93.6	93.3	92.9	93.5	94.0	95.0	95.7
25-29歳	55.2	60.6	65.1	67.4	69.4	71.4	71.8	72.7	76.4
30-34歳	21.5	28.2	32.8	37.5	42.9	47.1	47.3	47.1	51.8
35-39歳	8.5	14.2	19.1	22.7	26.2	31.2	35.6	35.0	38.5
40-44歳	4.7	7.4	11.8	16.5	18.7	22.7	28.6	30.0	32.2
45-49歳	3.1	4.7	6.8	11.3	14.8	17.6	22.5	25.9	29.9
50-54歳	2.1	3.1	4.4	6.7	10.3	14.4	17.8	20.9	26.6

年齢階層別の未婚率の推移（女性）

(%)

	S55	S60	H2	H7	H12	H17	H22	H27	R2
20-24歳	77.8	81.6	86.0	86.8	88.0	88.7	89.6	91.4	93.0
25-29歳	24.0	30.6	40.4	48.2	54.0	59.1	60.3	61.3	65.8
30-34歳	9.1	10.4	13.9	19.7	26.6	32.0	34.5	34.6	38.5
35-39歳	5.5	6.6	7.5	10.1	13.9	18.7	23.1	23.9	26.2
40-44歳	4.4	4.9	5.8	6.8	8.6	12.2	17.4	19.3	21.3
45-49歳	4.5	4.3	4.6	5.6	6.3	8.3	12.6	16.1	19.2
50-54歳	4.4	4.4	4.1	4.6	5.3	6.2	8.7	12.0	16.5

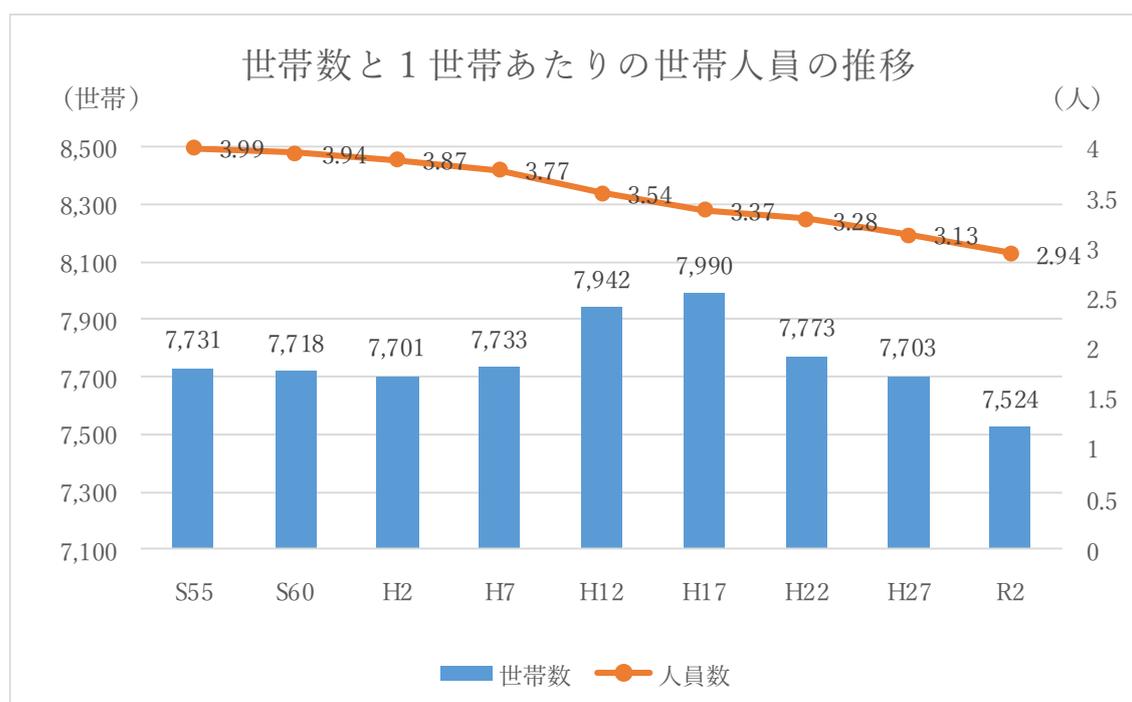
(資料：国勢調査 各年10月1日現在)



(2) 家族や地域の状況

①世帯の動向

世帯数は核家族化や単身世帯の増加により平成17年までは増加傾向でしたが、以降減少に転じ令和2年は7,524世帯となりました。1世帯あたりの人数は、令和2年には3人を割り込み、減少傾向が続いています。



(資料：国勢調査 各年10月1日現在)

②就労状況

福井県内の17市町を比較すると、男女ともに就業率は県平均よりもやや低い状況にあり、共働き率については県内でも高い地域となっています。

福井県下の就業率と共働き率（％）

	就業率			共働き率	
		男性	女性		H27からの増減
福井県	62.8	70.6	55.6	61.2	2.6
福井市	63.2	70.5	56.4	61.3	3.9
敦賀市	61.6	71.4	52.2	53.1	3.6
小浜市	62.0	71.2	53.2	59.5	3.1
大野市	62.2	70.1	55.1	63.5	0.4
勝山市	60.2	66.7	54.4	62.1	2.0
鯖江市	64.3	71.1	57.9	64.5	2.0
あわら市	61.8	69.6	54.9	60.8	-0.2
越前市	64.3	71.8	57.1	62.9	3.7
坂井市	63.7	70.8	57.1	63.2	0.4
永平寺町	61.6	68.1	55.6	64.0	0.3
池田町	59.2	66.7	51.9	56.9	-3.2
南越前町	58.2	65.8	51.5	60.4	1.2
越前町	59.5	67.1	52.6	60.7	-0.9
美浜町	61.6	72.2	50.6	54.8	1.8
高浜町	65.4	76.2	54.0	59.6	2.5
おおい町	63.9	74.6	53.2	61.2	3.4
若狭町	59.9	69.1	51.6	63.0	1.8

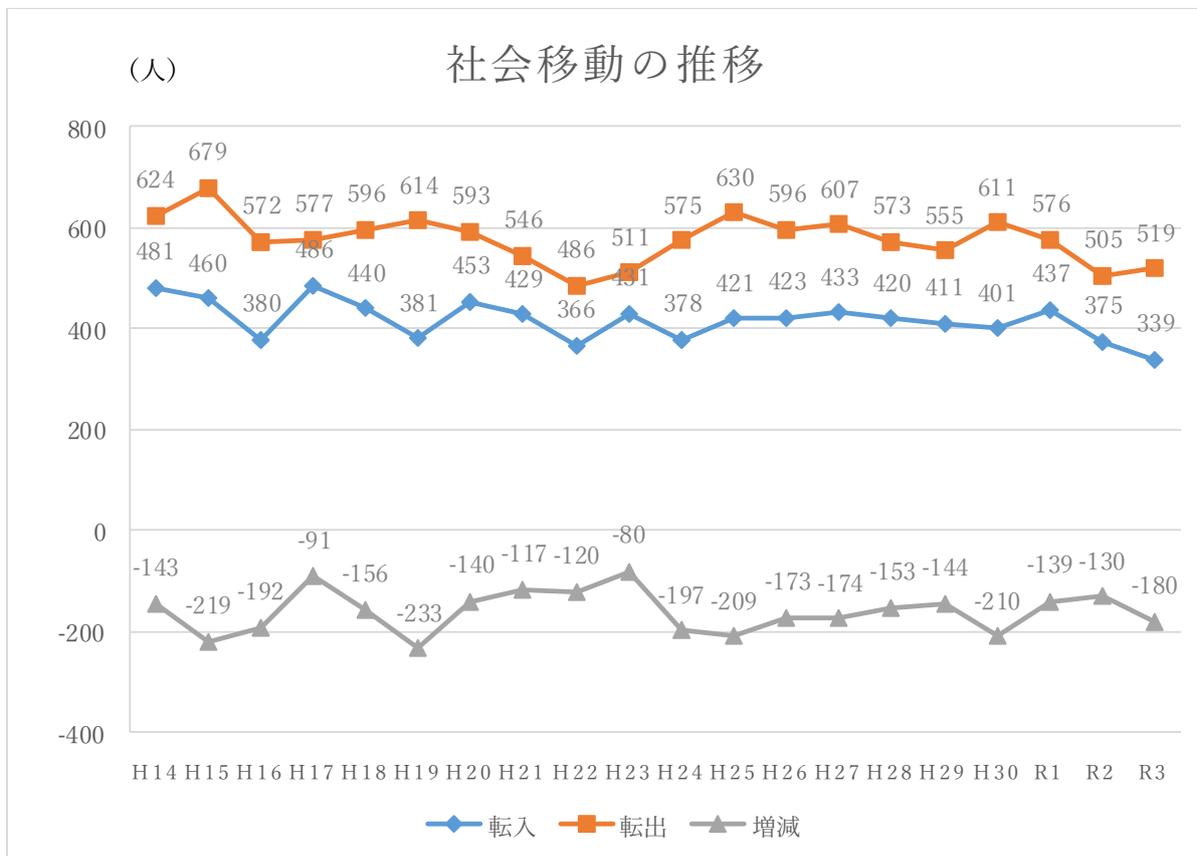
（資料：R2年国勢調査）

*就職率：「15歳以上の人口」に占める「就労者」の割合

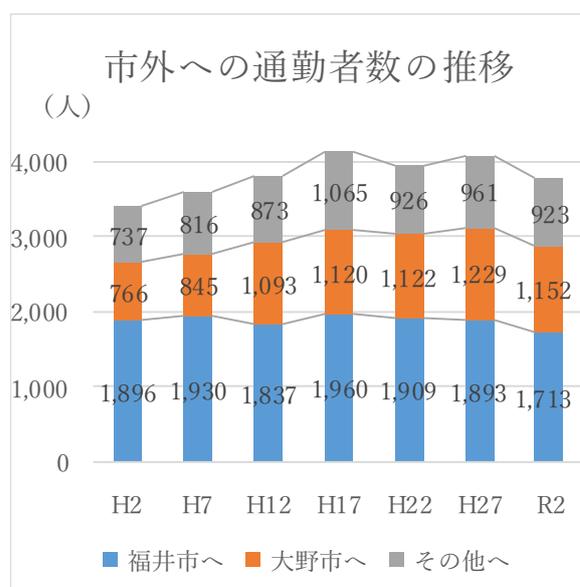
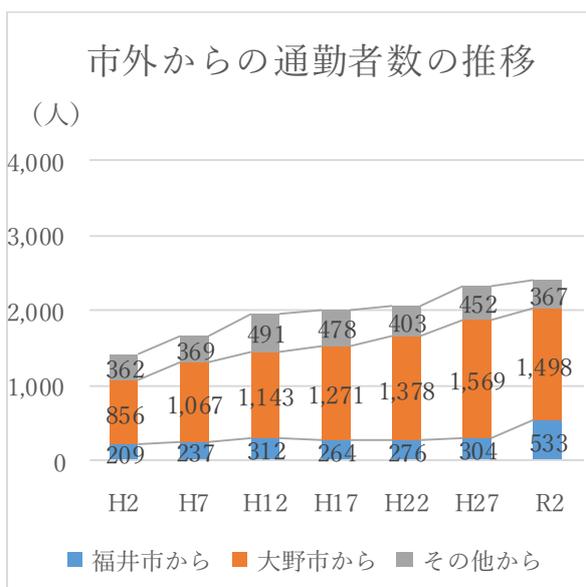
*共働き率：「共働き世帯の割合」のことであり、「夫婦のいる世代」に占める「夫婦ともに非農林業雇用者の世帯」の割合

③地域の特性

勝山市では転出者数が転入者数を上回る、社会的要因による人口減少が続いています。
市外からの通勤者数は増加傾向、市外への通勤者数は令和2年は減少しました。



(資料：勝山市のすがた)



(資料：国勢調査 各年10月1日現在)